

# しみずの教育 ちよつといい話

【平成30年5月号】

清水小学校

校長 高井正樹

## みんなで楽しく交流



4月27日（金）、児童会事務局が企画、運営した「1年生を迎える会」が開かれました。全校ゲームなどを通して子どもたちが楽しく交流し、清水っ子の絆をさらに深めることができました。会の最後には、1年生がお礼として校歌を歌って聞かせてくれました。短い期間で一生懸命練習した校歌はとても上手でした。楽しい会を企画、準備してくれた児童会事務局、6年生の皆さんに感謝です。

## みんなで元気にあいさつ

前期の児童会活動が始まり、事務局（児童会三役）・集会・保健美化・図書・放送の5つの専門委員会がより良い学校をつくるために活動を始めました。事務局の子どもたちは、早速、「あいさつ運動」を開始。「元気にあいさつをしよう！」「いつでもあいさつ」などと書かれたプラカードを掲げ、登校して来る人たちに「おはようございます！」と元気に呼びかけていました。



## みんなできれいに整理整頓



5月の連休が終わり、心身ともにリフレッシュした子どもたちが学校に戻ってきました。子どもたちが心を落ち着けて学習に臨むためには、学習環境を整えることがとても大切です。各学級では、写真のように、子どもたちが意欲的に集中して学習に向かうことができるよう、美しい環境づくりに努めています。

## 御影小学校

### スペシャル交流会 (1・2年生)

4月23日(月)の2・3校時、2年生が1年生に学校紹介をしました。図工室、図書室、音楽室、2年生教室を紹介し、それぞれの場所で楽しい企画が用意されていました。1年生を笑顔いっぱいにしてすばらしい交流会だなと感じました。2年生もステキな上級生に成長していますね。



(教頭 川崎 広輝)

## 清水中学校

### 無言の生徒玄関から

授業見学をしようと体育館に向かって生徒玄関前を歩いていると、ふと生徒用靴箱が目にとまりました。大抵1クラスに1足2足は片方の靴が落ちそうになっていたたり、倒れていたりする光景が見られるものです。

しかし、本校の靴箱は整然と、かかとがきれいに揃えられています。両方のくつのかかとを合わせて持ち、しっかりと自分の場所に収めているのでしょう。当たり前のことですが、とても美しく思えました。



### 大丈夫?・・・自分のことよりも

本校体育祭の伝統、それは「組体操」。1年生も例外なく、その取組が始まりました。「せーの」のかけ声の下、息を合わせて立ち上がったたり、ピラミッドでは土台の生徒が四つん這いになって上に乗る生徒を支えたりします。そんな時、「大丈夫?」と土台の生徒が隣の友達に一声。自分も辛いけれど、友達を思いやる。一緒に頑張ろう!そんな声が聞こえてくる

ようでした。

挨拶をする、感謝のお礼を言う、相手を気遣い思いやるなど、今後も当たり前のことを当たり前に行える生徒を全教職員一丸となり、しっかりと育てていきたいものです。



(教頭 須藤 正博)

## 御影中学校

### 生徒会スローガンから

～気づき、考え、行動する生徒～

校長 塚原 雄二

4月12日(木)に新1年生を御影中学校に迎えて、生徒会執行部で生徒会入会式・部活動オリエンテーションを実施しました。この企画は新入生に快く、安心して御影中学校の生活に入れるよう、毎年生徒会が企画している行事です。生徒会長挨拶の後、生徒会組織、活動などを紹介し、その後、各部活動について思考を凝らした勧誘の紹介がありました。活気あふれ、まじめな話や砕けた話、練習の様子の実演、はたまた踊りなどが発表され、面白い進行で見ているものの目をくぎ付けにする内容でした。



最後に、毎年恒例の企画で、生徒会からこの1年間の行動目標のスローガンを掲げています。今年度書記局4人で考えたスローガンは「万里一空」になりました。何と難しい四字熟語ではありましたが、意味は「目的、目標、やるべきことを見失わずに励む、頑張り続けること」だそうです。語源は宮本武蔵が長年の修行で到達した精神的境地で、著書の「五輪書」に掲載されています。

4人の今年にかける意気込みが伝わってくるスローガンに感心させられました。始業式では生徒全員で「気づき、考え、行動する」生徒になろうと呼びかけました。生徒会書記局は先頭にたって、御影中をリードしていこうという意味が明確になった入会式となりました。



## 二人の教育実習生が奮闘中！

校長 平野道雄

5月7日（月）～25日（金）の日程で、日本体育大学体育学部体育学科4年の小山田峻さんと、札幌大学経営学専攻経営・会計コース4年の角田将昇さんが本校へ教育実習に来ています。小山田実習生は苫小牧出身、角田実習生は清水町出身、本校在学中はそれぞれアイスホッケーと野球に打ち込んだ3年間を過ごしたそうです。また、二人とも高校2年次での清水小学校でのインターンシップで、大学に進学して教職課程を取る気持ちが高まったとのことでした。

久しぶりに見た清水高校生の様子については、自分の在学中にもまして、きちんと先生の話聞き、落ち着いて授業を受けていることに感心した一方で、早速、受け持ったホームルームや科目の授業で、人前で話すことや生徒を動かすことの難しさを、緊張と不安の中で体験しています。

二週間後に予定している研究授業の発表では、たくさんの先生方の前で見違えるような姿で教壇に立っていることを期待しています。

なお、本校では今年度、6月11日（月）～22日（金）を授業公開週間としていますが、この時期に限らず、いつでも授業参観できますので遠慮なくお越し下さい。



【小山田実習生】



【角田実習生】

園長 福原幸江

## なかよしタイム…異年齢活動

幼稚園では同年齢の保育が基本ですが、異年齢の友達とかかわることで、思いやりや憧れの気持ちを育んだり、様々な活動や遊びを通して友達関係を深めたり、生活体験を広げることをねらいとして月2～3回の異年齢活動を教育課程に取り入れています。



【年長・年中一緒に散歩】

本園の研究主題『心かよわせ、互いに響きあう感性豊かな子どもの育成』～たくましい心と体をはぐくみながら～をめざし、異年齢活動にも『リズムあそび』『運動あそび』を取り入れて本年も取り組みます。



【リズム遊び：とんぼ】

4～5月主な活動

○リズムあそび

あひる かめ

とんぼ めだか他

○集団ゲーム

○散歩



年少は5月から参加です！  
初めて砂場で遊びました

## 春の防火教室…VTR をみせていただきました

春の防火教室を4月20日（金）に行いました。消防署から梶本さんと消防団の方2名がいらっしゃいました。お話を聞いた後に、DVD「にゃん太のおたんじょう日は火事さわぎ！」「じしんがきたらどうする？むしむし村の防災訓練」の視聴では、キャラクターにくぎ付けで真剣に見ていました。

幼稚園の避難用の火災報知機のベル体験では、たんぼ組さんの中には「こわい」と先生にしがみつく子もいましたが、お話はしっかり聞いていました。

署員さんからの学んだ内容についての復習質問タイムでは、「ばら」「さくら」組がともに手を挙げて、学んだことを元気に答えていました。梶本さんから褒めていただきました。



### 第一保育所

## 戸外あそびの準備が完了しました!!

4月24日（火）、田村建設様のご厚意により保育所グラウンドの転圧が行われました。冬の間盛りに上がった土をローラーで押し固め、平らになったグラウンド。



翌日は4・5歳児が小枝や石を拾い戸外あそびの準備は完了。待ちにまった外あそびに突入です。三輪車やボールで思う存分にあそぶ子どもたちの顔は笑顔にあふれ、満足そのものでした。その後も、小さいクラスのお友だちが順次グラウンドデビューを終え、暖かい日差しのもと元気に遊んでいます。



これからは運動会の練習も始まり、保育所はにぎやかな声が響きわたることでしょう。

(保育士 喜多見 珠 美)

## 春を探してきました

4月になり、雪が解けた事で少しずつ友だちと手を繋いで散歩を楽しんでいます。ちゅうりっぷ組では、「春を探そう!」と言って散歩の度に春の草花を探していました。まず福寿草を見つけて大喜びの子どもたち。ちゅうりっぷやクロッカスの芽を見つけ、「いつ咲くのかなあ」と楽しみにしていました。特に園庭の花壇の花が咲くことを心待ちにしていました。



その後、散歩の度に草花の芽を見つけていた子どもたちでしたが、4月末から暖かい日が続く、ついに花の多くが咲き始め、「やっと咲いたねー!」と大喜びでした。桜も咲き、春の草花に囲まれながら散歩を楽しみました。これからどんどん暖かくなり、散歩日和が続くと思うので、季節の草花にも注目しながら子どもたちと散歩を楽しみたいと思います。



(保育士 森 山 遥 加)

## 第二保育所

## みんな、はいきっています!

今年は、8名の新しいお友達が第2保育所に仲間入りし、それぞれひとつ大きいクラスになって新しいクラスがスタートしました。うれしいけれど、ちょっぴり緊張していた子どもたち。今では少しずつ慣れてきて笑顔が増え、毎日元気いっぱい遊んでいます。先日の4月11日(水)に対面式を行い、各クラス担任や新入児の名前を紹介したり出し物の踊りや劇を披露しあい交流しました。会の



最後には年長の15名が折り紙で作ったペンダントを全員にプレゼントしてくれました。みんな大喜びで、大切にかばんに入れ持ち帰っていました。



(保育士 匂 坂 裕 子)

## ぞうぐみさん はる み~つけた!

新年度がスタートして早いもので1ヶ月が経ち、外を見てみると草花が顔を出し始め、すっかり春の陽気が感じられるようになりました。気持ちのよい天気の中、子どもたちはクラス帽子をかぶって元気よく散歩に行く姿が多く見られるようになり「ちゅうりっぷみつけたよ~」「ありさんあるいてた~」など春を見つけることも楽しみの1つになっています。



ぞう組（5歳児）は、散歩の途中で“つくし”を見つけ、見つけたつくしをマイクに見立てて「つくしんぼうのマイクロホーン」を歌ったり、年下のクラスの友達に見せに行ったりするなど、友達と一緒に春の訪れを喜び微笑ましい姿を見せてくれています。



これから1年、散歩を通じて自然と触れ合い、四季の移り変わりを感じたり、体を動かして遊んだりし、子どもたちと楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。

（保育士 古田 琴乃）

## 御影保育所

### 新年度がスタート！

新しいお友達や先生を迎え、60名で御影保育所がスタートしました。一つ大きいクラスになったことが嬉しく張り切って登所しているお友達、お母さんと離れるのが寂しく涙するお友達もいましたが、少しずつ新しいクラスにも慣れ、泣いていた子も笑顔で登所してくれるようになりました。ついつい自分のクラスを間違え前のクラスに入ってしまう、なかなか気が付かずに遊んでいるお友達もいましたが、今では間違えることもなく、すっかり慣れた様子です。

11日（水）には対面式が行われました。各クラス、ステージに立ちみんなの前でクラスの紹介、先生の紹介をしました。小さいクラスでは、ステージに立つとドキドキし恥ずかしそうにしましたが、「かわいい〜」とみんなから声を掛けてもらい、ニコニコ笑顔も見られました。



3歳児さくら組は、みんなで声を合わせて発表を頑張りました。4歳児ゆり組は、円陣を組み仲良く発表しました。5歳児ひまわり組は、自分たちで言葉を考え、「困ったことがあったら、いつでも頼ってね！」「みんなでいっぱい遊ぼうね」と、元気に発表しました。年長さんとしての気持ちも強まり、これから保育所のリーダーとして、みんなのことを引っ張っていつてくれるかな！！



これから一年間、みんなで楽しい思い出をたくさん作っていただけたらと思います。

### 母の日プレゼント♪

5月13日（日）の母の日に向けて、一人一人お母さんにプレゼントを作っています。5歳児ひまわり組では製作をする前に、いつもみんなのことをしてくれているお母さんに、どんなことを伝えたい？と質問すると、「ご飯を作ってくれてありがとう」「一緒に遊んでくれ

てありがとう」「お母さんだいすき」「いつもありがとう」といろいろな言葉が出てきました。お母さんの顔を思い浮かべて似顔絵を描き、心を込めて作っている様子でした。

各クラス、似顔絵を描いたり手形を貼ったりしたプレートの回りをかわいく装飾をして、素敵なものを仕上げる事が出来ました。「母の日はまだかな」と早く渡したくて仕方が無い様子でした。母の日に、感謝の気持ちを伝えて渡すことは出来るかな～？おたのしみにしていてください！

(保育士 中村 明里)

## 教育委員会

### しみず「教育の四季」推進協議会の開催

4月25日(水)、第1回「しみず『教育の四季』推進協議会」を町文化センターで開催しました。

“しみず「教育の四季」”は、平成18年4月3日に宣言され、以来、家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子を育てる取組を進めてまいりました。

推進協議会では、主催者として西垣輝明会長の挨拶に引き続き、29年度の経過報告、しみず「教育の四季」の各学校の実践報告の後、基本的生活習慣等“しみず「教育の四季」”に関するアンケートの結果について報告をしました。更に、教育委員会が導入を進めるコミュニティ・スクールについての基本的な考え方についての説明を行いました。

意見交流では、子どもたちの挨拶の様子や、読書、コミュニティ・スクール等々について貴重なご意見をいただきました。

最後に三澤吏佐子教育長職務代理者からの挨拶で協議会を終了しました。

“しみず「教育の四季」”の取組も13年目を迎えました。意見交流の中で、長く続けることに意義があるということも話されていました。

今後も“しみず「教育の四季」”を地道に推進していきたいと思えます。町民皆様方の更なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(教育指導幹 清水 彦一)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、背中に声かけ

行ってらっしゃい

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは